

議会だより



主な内容

- ◆第7回定例会の開催結果…… 2ページ
- ◆決算の状況について…… 4ページ
- ◆審議結果一覧…… 6ページ
- ◆市政を問う、一般質問…… 7ページ
- ◆委員会行政視察報告…… 12ページ

■今号の表紙■

平成26年1月5日に飫肥地区において、県の防災救急ヘリコプター『あおぞら』も参加して出初式が行われました。

《発行者》

宮崎県日南市議会
〒887-8585

平成26年2月1日発行
日南市中央通一丁目1-1
電話：0987-31-1142(直通)
FAX：0987-31-1778

第7回定例会

平成25年度一般会計補正予算

などを可決

第7回定例会は、平成25年11月25日から12月17日までの23日間開催されました。

平成25年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案などあわせて19件を審議しました。(審議結果につきましては、6ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

報告

■専決処分の報告について

市道舞之山昼野線の道路上にあった落石に、走行してきた自動車 yang 乗り上げ、損傷した事故に関し、損害賠償の額を定めることについて専決処分したものです。

一般会計

補正予算の概要

一般会計補正予算の補正額は、4億8000万円で、補正後の予算総額は、269億4400万円となります。

補正の主な内容は、防災対策に要する経費をはじめ、産業振興に係る経費などが計上されています。

■地域安全対策事業

〔254万9千円〕

日南地区防犯協会が日本財団より助成金を受け、防犯パトロール車を購入するための費用の一部を助成するものです。

■防災公園整備事業

〔3856万2千円〕

地震をはじめとした災害発生時において、市民の避難場所や自衛隊等の野営地、物資等輸送の拠点となる「防災公園」に緊急対策会議室等を整備するものです。



整備の進む「防災公園」

■漁船抵抗軽減対策事業

〔3104万5千円〕

漁業の経営安定化を図るため、燃油費の軽減を目的としたペン

ドック(船底の清掃、塗装)に要する費用の一部を助成するものです。

■緑の産業再生プロジェクト事業

〔9111万5千円〕

木材生産コストの低減と供給体制の確立を図るため、事業体が実施する木材加工施設及び高性能林業機械の導入に対して助成するものです。

■企業誘致促進事業

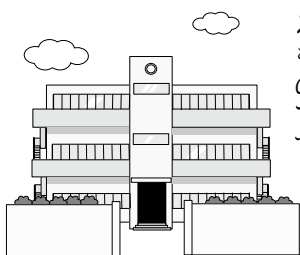
〔504万円〕

「日南市企業立地促進条例」に基づき指定工場に指定した事業所に対し、同条例に規定する優遇措置として用地取得費の一部を助成するものです。

■(新)吉野方小学校閉校事業

〔400万円〕

平成25年度末で閉校となる吉野方小学校の閉校事業に要する経費の一部を助成するものです。



特別会計・企業会計 補正予算の概要

特別会計及び企業会計については、システム改修経費や退職給与金、人件費調整等が計上されています。

(単位：千円)

【特別会計】

区分	補正前の額	補正額	補正後の額
農業集落排水	31,000	1,470	32,470
漁業集落排水	23,500	71	23,571



(単位：千円)

【企業会計】

区分		補正前の額	補正額	補正後の額
病院事業	収益的収入	1,181,386	△ 36,396	1,144,990
	収益的支出	1,180,501	23,391	1,203,892
公共下水道事業	収益的収入	683,001	6,982	689,983
	収益的支出	675,645	6,982	682,627
	資本的収入	633,170	151	633,321
	資本的支出	909,879	151	910,030
水道事業	収益的支出	908,900	1,000	909,900

その他の議案

■日南市立体育館条例の一部を改正する条例

【主な内容】

施設の老朽化に伴い、利用者の安全を確保することが困難であるため、南郷中央地区体育館の用途を廃止するものです。

■日南市北郷坂元球場条例の一部を改正する条例

【主な内容】

北郷坂元球場の使用料等について、施設の規模・状況等を勘案し、市内野球場との均衡を図るため、所要の改正を行うものです。

■日南市南郷B&G海洋センター条例の一部を改正する条例

【主な内容】

南郷B&G海洋センタープールの開館時間について、施設の状況等を勘案し、所要の改正を行うものです。

■日南市公園条例の一部を改正する条例

【主な内容】

有料公園施設のうち、野球場及び弓道場の使用料について、施設の規模・状況等を勘案し、施設間の均衡を図るため、所要の改正を行うものです。

委員会審査から

付言された主な意見・要望

■議案第88号 平成25年度日南市一般会計補正予算

「予算審査特別委員会」

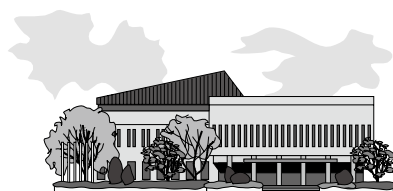
①地域連携組織においては、それぞれの地域安全のため、防犯パトロール車で活動頂くことになるが、その運行に際しては、事前に統一した要綱等により安全指導の徹底と身分の保障等を定め、万全を期せられるよう努められたい。

②マーケティング関連事業については、適正な執行に努められ全体の進捗状況についてもお知らせいただきたい。

■議案第89号 平成25年度日南市病院事業会計補正予算

「厚生委員会」

予定外の退職者が増えたことによる退職給与金の増額はわかるが、在宅医療などの特化した事業をさらに充実され病院経営健全化に努められたい。



平成24年度一般会計決算 などを認定

一般会計決算の概要

(単位:千円)

区分	歳入	歳出	差引
一般会計	27,663,211	26,845,139	818,072

特別会計決算の状況

(単位:千円)

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	8,878,996	8,328,044	550,952
後期高齢者医療	796,164	786,388	9,776
介護保険	5,880,535	5,831,323	49,212
簡易水道	438,783	433,786	4,997
農業集落排水	29,055	26,789	2,266
漁業集落排水	29,431	27,106	2,325

企業会計決算の状況

(単位:千円)

区分	収入	支出	差引	
病院事業	収益的収支	1,093,433	1,061,760	31,673
	資本的収支	39,000	124,385	△85,385
公共下水道事業	収益的収支	679,832	665,217	14,615
	資本的収支	650,765	919,003	△268,238
特定環境保全公共下水道事業	収益的収支	95,529	93,501	2,028
	資本的収支	162,526	207,562	△45,036
水道事業	収益的収支	959,294	861,603	97,691
	資本的収支	377,259	709,259	△332,000

※病院事業、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、水道事業の資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金などでの補てんがされており、現金収支における損失はありません。
(損益勘定留保資金とは、減価償却費など、現金支出を必要としないものを費用に計上することによって留保される資金です)

決算審査特別委員会に付託を受け、閉会中の継続審査となっていた「平成24年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について」など認定11件、議案第71号「平成24年度日南市水道事業未処分利益剰余金の処分について」につきましては、議長及び議会選出監査委員を除く議員で構成する、決算審査特別委員会を設置し、10月28日から30日の日程で審査を行いました。
審査の結果、賛成多数をもって平成24年度決算を認定しました。

■決算規模の状況

平成24年度の決算規模については、緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生事業の減や楠原住宅建替事業の終了に伴う減があったものの、防災拠点施設整備事業の皆増や防災公園整備事業、障害者自立支援給付費の増などにより、前年度に比べ、2億7802万円の増となりました。

■平成24年度主な主要施策の成果

- ・ 地域内自治推進事業
〔324万9千円〕
- ・ 日南市広報番組放送事業(緊急雇用創出事業)
〔2877万円〕
- ・ 場外発売場運営事業
〔1778万4千円〕
- ・ 地域力磨き上げ応援事業
〔574万6千円〕
- ・ 防災公園整備事業
〔3億3736万8千円〕
- ・ 農村活性化支援事業
〔598万8千円〕

- ・にちなん飢肥杉の家づくり事業
〔468万8千円〕
- ・にちなん飢肥杉プレゼント事業
〔495万7千円〕
- ・漁船抵抗軽減対策事業
〔2033万6千円〕
- ・住宅リフォーム促進事業
〔4337万1千円〕
- ・新エネルギー普及啓発事業
〔1839万円〕
- ・市営住宅長寿命化事業
〔663万7千円〕
- ・公園施設長寿命化計画策定事業
〔509万3千円〕
- ・学校空調整備事業
〔2億4201万8千円〕
- ・津波対策緊急整備事業
〔4795万1千円〕
- ・旧北郷中学校等跡地利用対策事業
〔561万7千円〕

- ・防災拠点施設整備事業
〔4億2587万円〕
- ・都市計画マスタープラン策定事業
〔720万1千円〕
- ・東九州自動車道整備促進事業
〔416万6千円〕
- ・油津港利活用等促進事業
〔2141万1千円〕
- ・長寿命化修繕計画策定事業(橋
りよう維持事業)
〔800万円〕



整備された空調機器(吾田中学校)



6次産業化の加工場視察のようす(南いちご農園)

- ・日南市橋りよう耐震対策基本計
画策定事業
〔500万円〕
- ・コミュニティバス運行事業
〔3796万4千円〕
- ・全国運河サミット実施事業(社
会資本・油津地区)
〔1217万6千円〕
- ・飢肥地区無電柱化整備事業
〔870万7千円〕
- ・6次産業化等支援事業
〔212万2千円〕

- ・放課後児童対策事業
〔2087万8千円〕
- ・保育所施設整備事業
〔3510万7千円〕
- ・学校支援地域本部事業
〔337万1千円〕
- ・問題を抱える子ども等の自立支
援事業
〔631万5千円〕
- ・スポーツランド日南推進事業
〔959万3千円〕
- ・ファミリースポーツセンター設
置事業
〔1800万円〕

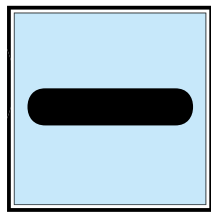


審議結果一覧

※平成25年第7回定例会の審査結果を掲載しております。

番号	議案名	審議結果	
		委員会	本会議
報告第15号	専決処分の報告について	—	終了
議案第71号	平成24年度日南市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決	原案可決
認定第1号	平成24年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第2号	平成24年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第3号	平成24年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第4号	平成24年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第5号	平成24年度日南市病院事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第6号	平成24年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第7号	平成24年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第8号	平成24年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第9号	平成24年度日南市公共下水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第10号	平成24年度日南市特定環境保全公共下水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第11号	平成24年度日南市水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
議案第88号	平成25年度日南市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	原案可決
議案第89号	平成25年度日南市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第90号	平成25年度日南市農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第91号	平成25年度日南市漁業集落排水特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第92号	平成25年度日南市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第93号	平成25年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第94号	平成25年度日南市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	原案可決
議案第95号	行政組織の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	原案可決
議案第96号	延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	原案可決
議案第97号	日南市税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第98号	日南市立学校条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第99号	日南市立体育館条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第100号	日南市北郷坂元球場条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第101号	日南市B & G 海洋センター条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第102号	日南市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第103号	日南市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
陳情第30号	四半的弓道の道場設置に関する陳情書	継続審査	継続審査
陳情第31号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元をはかるための、2014年度政府予算に係る陳情書	不採択	不採択

市政を問う!



一般

質

問

平成25年第7回定例会における「市政に対する一般質問」は、12月5日から10日まで(休日を除く)の4日間行われ、16人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたどりました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局(電話:0987-31-1142)までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ① 濱中武紀 議員 [収入未済額等について、防災について、農林漁業について、発達障がいについて、教育行政について]
- ② 中尾貞美 議員 [小村寿太郎侯没後100年事業について、市長の政治姿勢について、ふるさと納税制度について、観光推進について、林業の推進について、津波・避難対策について、道路・河川事業について、エコツーリズムについて]
- ③ 谷口慎二 議員 [農業振興について、観光振興について、地域担当職員について、教育行政について]
- ④ 川越昇 議員 [観光振興について、教育行政について、市役所改革について]
- ⑤ 井戸川格 議員 [オストメイトについて、環境問題及び教育環境問題について、日南総合運動公園の雨天テニスコートの整備について]
- ⑥ 山田一 議員 [市長の市政運営について、教育環境対策について、健康対策について、橋梁整備について]
- ⑦ 坂元啓一 議員 [観光振興の促進に関して、公共(準公共)施設のあり方について、住民サービスのあり方に関して、教育問題に関して、市長の政治姿勢について]
- ⑧ 深川保典 議員 [中心市街地活性化について、「5年で減反廃止」を受け、日南農政再生を問う]
- ⑨ 磯江純一 議員 [保育所民営化の検証について、地域連携組織について、スポーツの振興について、市職員の生活圏について、オラレ基金の運用について、サテライトについて]
- ⑩ 山本定則 議員 [漁業・地磯について、燃油対策について、農業問題について、耕作放棄地について、有料指定ごみ袋制度について、防災全般について]
- ⑪ 林一彦 議員 [日南市総合計画について、四半的道場建設について、教育行政について、図書館について、保育児童の登園時の交通安全について、フッ化物洗口の今後について]
- ⑫ 黒部俊泰 議員 [「廃校を地域支え合いの拠点に!全国サミット」からみた廃校の活用について]
- ⑬ 前田幸雄 議員 [フッ化物洗口のその後の取り組みについて、肺炎球菌ワクチンの取り組みについて]
- ⑭ 鈴木教夫 議員 [通信インフラ整備について、地方分権と合併5年目の現況と課題について]
- ⑮ 和足恭輔 議員 [秘密保護法について、社会保障改革プログラム法について、市の高齢者への栄養指導について、高齢者に対するこまやかな住民サービスについて]
- ⑯ 井福秀子 議員 [市営住宅のあり方について、高齢者の施設入居について、全小中学校のクーラー設置について、不妊治療の補助について]



改政クラブ
濱中 武紀 議員

防災について

(問) 本年度策定予定の避難計画の進捗状況を問う。
(答) 3月までに計画を策定し、4月以降に各自治会に配布し、住民説明会の開催を予定している。

農林漁業対策について

(問) オリーブ栽培の現状を問う。
(答) 一部の農園で害虫等の被害はあったが順調で、引き続き農家による研究とオイルなどの加工品の販路の開拓に努めていく。
(問) チョウザメの現状を問う。
(答) 市内では、4業者で約1万2千匹が養殖され、キャビア生産が可能なのは、そのうち2業者。県指導のもと、魚肉やキャビア販売のほか、全てにおいて協同組合で管理されている。
(問) 伊勢えび漁不漁対策を問う。
(答) 県に指導対応をお願いしている。県と連携し、小型えびの放流、藻場の育成等に努める。

教育行政について

(問) 鶴戸中体育館前トイレの回収を問う。
(答) 教育施設保全計画の中で、検討していく。
(問) 発達障がい児童支援策を問う。
(答) 児童生徒の支援の充実を図るため、非常勤講師の活用を検討する。

ふるさと納税制度について

(問) 発祥地である四半的道の場の建設など、考えられないか。
(答) 事業実施の必要性を検討した上で、より効果的な財源の充実に努めていく。

観光推進について

(問) 着地型観光事業の展開により、どのような効果が期待できるのか。
(答) 観光客人込客の増加のほか、斬新な発想による発信力の向上など期待したい。

林業の推進について

(問) 間伐材の有効活用策として、「木の駅」制度的なものを実施できないか。
(答) 地域での取り組みが、成功への鍵と言われ、本市での取り組みについて、関係者と協議を進めたい。

津波、避難対策について

(問) 特別強化地域の指定に向けて、計画を策定するのか。
(答) 県との連携を密にし、今後、国の動きを注視していく。

道路、河川事業について

(問) 飼肥本町通り国道と旧山本猪平邸前通り交差点は、何か対策はないのか。
(答) 交差点における交通事故減少に努めたい。



改政クラブ
中尾 貞美 議員



新生日南会
谷口 慎一 議員

農業振興について

(問) TPP、減反廃止案を見据え、水田に自動水位システム(フォアス)を導入する考えはないか。
(答) 土地改良区、関係農家等の意見を伺いながら、導入計画の策定を検討したい。

観光振興について

(問) ジャカラランダの防寒対策の進捗状況はどうか。
(答) 必要と感じ、今定例会に、補正予算を提案している。
(問) 交通対策はどうなっているか。
(答) 関係機関と協議しながら園内の交通の見直し、臨時駐車場の確保、シャトルバスの運行等を検討する。

地域担当職員について

(問) 前市長からの取り組みを受けて、新市長の考えはどうか。
(答) 必要性が高いので継続する。

教育行政について

(問) 小中一貫校、今後の計画はどのようなものか。
(答) 吉野方小学校が来春、飼肥小学校に統合され、また、酒谷中学校区では学校活性化準備委員会が発足した。
(問) 廃校の建物利用について、今後の方針はどうか。
(答) 地域振興を目的に地域の思いが反映されるような活用を行いたい。

観光振興について

(問) 着地型観光を宿泊型観光へどうつなげていくのか。
(答) 今後は、事業の検証を行う一方で、実施日時の工夫をさらに加えるなど、宿泊客の増加に効果をあげたい。

(問) 外国人への観光PRの強化を、今後どう進めていくのか。
(答) JR九州上海事務所などと連携した誘客をはじめ、欧米及び東南アジアの客船誘致の活動に力を入れていく。

(問) 本市の農家民宿数と宿泊者数について、平成24年度は何件で何人か。
(答) 2件で246人である。

教育行政について

(問) 振徳教育に対する市長の考えはどうか。
(答) 重点的取組事項は、今後も継続して取り組んでいく必要がある。
(問) 振徳教育と4つの学ぶ力との関係について、教育長の考えはどうか。
(答) これまでの振徳教育として取り組んできたものを踏まえ、今後は人格形成にとって大きな力となる4つの学ぶ力を身につけさせていきたい。
(問) 市内小中学校における体験活動の現状はどうなっているか。
(答) 日南ふるさと学に取り組み、加えて職場体験や様々な農業体験を、地域の方々のご支援のもと実施している。



新生日南会
川越 昇 議員



新生日南会
井戸川 格 議員

オストメイトについて

(問) オストメイト(人工肛門、人工膀胱保有者)用の公共施設のトイレ設置数は何基あるのか。

(答) 一体型が9施設11基、簡易型が6施設10基設置してある。

(問) 健康行政の中で、健康診断の受診率向上対策は何か。

(答) 個別訪問や未受診者に対する受診勧誘を行っている。

環境問題及び教育環境問題について

(問) 景観的にもよくない放置自動車があるが、対策はないか。

(答) 所有者の調査、撤去処分をお願いしている。今後も関係機関と連携を図り撤去に向けて法的な整備を含め、早期に整備する。

(問) 公共施設土地内にある個人名義の解決方法はなにか。

(答) 学校用地として適切な管理が出来るよう、方法について検討している。

(問) 小中学校運動場の、砂ぼこり対策はなにか。

(答) 塩化カルシウムを撒くことで、対応している。

総合運動公園の雨天テニスコートの整備について

(問) オムニコート化の計画を問う。

(答) 国の助成制度を活用し、整備時期の検討を行っている。

教育環境対策について

(問) 8月1日付けでマーケティンク専門官を業務委託され色々事業を計画されているが、目標数値はあるのか。

(答) サポマネ木藤氏のように目標値を定め、議会や市民に対して今年度末ごろまでには目標数値を定めて示す。

(問) 全国で突風・竜巻等が多発しているが、学校での生徒や教員に対する非難対策マニュアル等はあるのか。

(答) 今のところ突風や竜巻を想定したマニュアルは作成していないので、今後さまざまな場面を想定した対応の在り方を検討していく。

健康対策について

(問) クラブ運営に苦慮されている東郷スポーツクラブに、市はどう支援していくのか。

(答) 自主運営が基本ではあるが、地域が一体となって取り組めるような環境づくりに努めていく。

橋梁整備について

(問) 油津の花峯橋が車両通行止めになっている。早期の架け替えはできないか。

(答) 27年度から架け替え工事に着手し1年又は2年で工事を完了する予定としている。最終的な工事期間については26年度における橋の構造や形式等の調査設計の結果を踏まえ判断する。



緑青会
山田 一 議員



日南ルネサンス
坂元 啓一 議員

住民サービスのあり方に関して

(問) 分水栓から個人量水器までの間で、給水管の漏水や機能不良により修繕工事等が必要になった場合、止水栓等の機能不良は、現在は個人の負担となっている。この取り扱いは、どのような経過で決まったのか。

(答) 給水装置は、配水管から分岐して、各家庭に繋がっている給水管及び蛇口などで、お客様の財産である。その維持管理については、所有者又は使用者で管理されている。現在のこの取り扱い、合併時に統一したもので、合併前の旧日南市と旧南郷町、北郷町ではその対応が異なっていたことから調整を行った。

(問) その負担見直しの考えはないのか。

(答) 住民サービスの一環として、平成26年度よりこの管理費用については無償とした。

教育問題に関して

(問) 本市の小・中学校における本年度のいじめ問題は何件あるのか。

(答) 本年度、小・中学校からのいじめの報告はない。

(問) 南郷町内のある小学校で、いじめがあったと聞いているが事実か。

(答) 保護者から教育委員会へ連絡があり、学校と協力して対応した。

中心市街地活性化について

(問) 油津をアートの特化した街にすることを提案したが、著名なアーティストを一本釣りで誘致できないか。

(答) アートを活用することは重要と考えているので、前向きに検討したい。

(問) アーティストの卵を油津に移住させるための全国公募をかけないか。

(答) 現時点では考えていない。

(問) 本年度中に一店舗目を出して欲しいが、その可能性はあるか。

(答) 本年度末までには、集客力のある核となる店舗を誘致したい。

「5年で減反廃止」を受け、日南農政再生を問う

(問) 減反廃止に伴いコメ農家へ直接支払い減額も打ち出された。価格下落には収入保険などもあるが、他に対策を考えているか。

(答) 平成26年産米からコメの直接支払い交付金を10アルあたり、7500円に削減した上で、30年度から廃止する方針を出している。ほかに、農地の多面的機能の維持・発揮を図るための日本型直接支払制度の創設などを考えている。

(問) 今後、競争力のない日南のコメは非主食用の米粉や餌米などにシフトしても補助金により補てんされるのか。

(答) そういう考え方になる。



日南ルネサンス
深川 保典 議員



無会派
磯江 純一 議員

保育所民営化の検証について

(問)旧日南市が民間第1号として委託した飢肥保育園の運営を、どのように理解されているのか。

(答)運営が適正になされているか、市も県に同行し、定期的に監査を実施している。その結果、飢肥保育園に限らず、他の保育園においても改善すべき指摘事項があるが、おおむね適切に運営されているものと認識している。

(問)県の監査でどのような指摘があったのか。

(答)幼稚園も併せて経営していることから、一部職員でどちらかの雇用か不明があったこと、経理の混在が一部見受けられたこと、雇用形態において雇用契約書と異なる勤務状況が見られたこと等、いずれも経営上の不慣れからくる誤りであったと聞いている。

市職員の生活圏について

(問)市職員の市外居住については、市民からの指摘もあるが何人か。

(答)本年4月1日現在で、46人となっており、内訳としては、宮崎市が29人、串間市が14人、都城市1人、三股町2人となっている。

(問)この現状について市長の考えは。

(答)私の率直な感想として、決して少ないとは言えない数字であり、危惧している。

漁業・地磯について

(問)伊勢えびの不漁が続き心配されているが、何か対策はないか。

(答)伊勢えびの減少については、その原因について定かではないが、生息のためには、藻場と生息の場が必要であり、今後とも漁業者や県と連携をはかり、小型エビの漁の抑制、藻場の育成、ウニの駆除、移植を行っていく。

(問)磯焼け対策について、以前のような藻類が繁茂している状況へ戻す打開策はないか。

(答)ウニによる食害も、その一つで、富士北部地区では、国の補助事業を活用し、ウニの除去と移植を行っており、年に数回、数人の漁業者が潜水し、手作業で毎年採取している。

燃油対策について

(問)農業経営者についても、補助対策はとれないか。

(答)国の事業で、施設園芸用の燃油価格が一定基準を上回った場合に、補填金を補助する制度があるので、関係農家への周知や説明等を行っていく。

有料指定ごみ袋制度について

(問)景品や粗品等の使用を控えるように指導しているが、規制はあるのか。

(答)関係法令や条例では、有料ごみ袋を景品や粗品等として利用する事の規制はない。



社民クラブ
山本 定則 議員



社民クラブ
林 一彦 議員

四半的の道場建設について

(問)日南市が発祥で、400年以上の歴史がある四半的がスポーツとして全国的に広がっている。北海道の医療法人では、身障者、高齢者のリハビリとして取り組まれている。他県で全国大会を開催されるとの声がある。また、他県のある自治体が四半的の発祥の地であるとアピールしているとの声もある。四半的の発祥地である日南市に道場を建設し全国への四半的の情報発信地にする考えはないか。

(答)限られた財源では、建設は大変難しい状況なので、既存の体育施設や公民館等の利活用をお願いしたい。

教育行政について

(問)家庭の経済力による教育機会の不平等を是正するため、大分県豊後高田市、島根県飯南町など、地方自治体が公費で学習塾を開く試みが広がっているが、日南市でも公費での学習塾の開講を行う考えはないか。

(答)公費での学習塾の開講は考えていないが、新規事業の「将来を担う次世代育成事業」の中に小中学生や高校生への学習支援の事業を、多く盛り込んでいく。家庭環境に左右されることなく、学びたい児童生徒には、その機会を提供できる環境づくりに努めていきたい。

「廃校を地域支え合いの拠点に！全国サミット」からみた廃校の活用について

(問)全国で1年間に、400、500校がなくなると言われている。日南市においては、旧北郷中学校が多目的広場として整備中であるが、廃校となった旧黒荷田小学校、旧鶴戸小学校、旧潮小学校の活用計画について伺う。

(答)旧黒荷田小学校については、現在、東九州自動車道建設工事に係る現場事務所・宿舍・駐車場として、建設会社に貸与しており、貸与期間は、来年の12月までを予定している。また、旧潮小学校については、来年4月から、自然体験型観光レジャー施設として、運営される予定となっており、旧鶴戸小学校については、地元住民の皆様と今後の活用方法について協議を行っている。

(問)日南市において、廃校の今後の活用計画についてどのようなものがあるのか伺う。

(答)吉野方小学校については、学校PTA、自治会、各種団体の代表者で構成される「吉野方小学校活性化推進会議」において、閉校準備が進められている。また、学校跡地の活用については、民間活力の導入を基本として、地元の意向を反映できる活用を図る。



公明党日南市議員
黒部 俊泰 議員



公明党日南市議員
前田 幸雄 議員

フッ化物洗口の、その後の取り組みについて

(問) 6月議会での答弁では、9月に保護者向けアンケートの実施だったが、その結果はどうだったのか。

(答) 来年度4月開催の各小・中学校のPTA総会で保護者説明会を行い、その後にアンケートを実施する。

(問) 10月開催の検討委員会では、モデル校が決まったようだがどの学校か。

(答) 北郷小中学校を決定した。

(問) 具体的にいつ実施されるのか。

(答) 今年度3学期から実施する。

(問) 残りの小・中学校についても、来年度より実施の方針が決定されたようだが、いつから実施するのか。

(答) モデル校である北郷小中学校での実施状況を踏まえながら、教職員及び保護者説明会等を経て順次実施していく。

肺炎球菌ワクチンの取り組みについて

(問) 高齢者の公費助成は出来ないか。

(答) 必要性は十分認識しているのですが、今後も定期接種化を国へ要望していく。

(問) 小児用で11月より7価ワクチンが13価ワクチンになったが、7価ワクチン接種完了者への13価ワクチン接種の公費助成は出来ないか。

(答) 考えていない。

通信インフラについて

(問) 北郷町には、16社の誘致企業がある。北郷エリアを重点区とした光ファイバー網整備に取組む考えはないか。

(答) NTT西日本に積極的に光ファイバー網の未整備地域へのエリア拡張について要望していく。また、高速道路と同じく大事であるので、できる方法を考えていきたい。

地方分権について

(問) 地域連携組織の未設立地域の現況は、どうなっているのか。

(答) 今月中に南郷地区の設立が予定されており、年内に8つの地区に組織ができ、吾田地区においても設立に向けた協議が順調に進んでいる。

(問) 地域連携組織の区域を、地方自治法に基づく地域自治区として想定しているが、具体的にはどのように移行していくのか。

(答) 市内9地区に、地域連携組織が設立された後、住民の意見等が反映できる審議機関等を設置し、地方自治法による地域自治区の制度導入を検討していく。また、合併特例法により設置している北郷・南郷町の地域自治区については、合併特例法及び地方自治法の、それぞれの制度の相違点などを協議の上、地方自治法による地域自治区へ移行していく考えである。



公明党日南市議員
鈴木 教夫 議員



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員

特定秘密保護法について

(問) 憲法を蹂躪する違憲立法に各界各層で反対の声が相次ぎ、慎重審議をもとめる声が世論となっていた。市長の見解を問う。

(答) 政府において適正な運用がはかられるものと考えている。

社会保障改革プログラム法について

(問) 社会保障改革プログラム法は国の責任を放棄し、国民に自立、自助を押し付けるものと考えているが、社会保障改革が市民に与える影響を問う。

(答) 少子化対策、医療、介護、年金などそれぞれの改革分野で多くの国民の経済的負担を伴うが、国の将来を左右する重要な改革だと考える。

(問) 介護制度の改革で、訪問介護、通所介護サービスへの保険給付外しが検討中だが、影響を受ける要支援認定者が何人いるのか。

(答) 要支援は本年3月末で999人、介護予防サービス利用者は617人で影響を受けるのは約500人である。

市の高齢者への栄養指導について

(問) 成人病と低栄養の栄養指導の現場でタンパク質摂取を促すか否かの混乱はないか。栄養指導の取組を問う。

(答) 介護予防と生活習慣病予防を総合的に展開する事業で、高齢者の現状に合った栄養指導と啓発に努めている。

市営住宅の在り方について

(問) 市営住宅の中には、建築年度も古く、浴室がない所もある。住環境は人間生活の基本である。建築当時と社会状況も大きく変化しており快適な住宅を提供すべきだ。実態はどうか。

(答) 浴室のない住宅は103戸で入居戸数は99世帯。昭和30年、40年代に建築した住宅は667戸である。

(問) 今後、改善する予定はあるのか。

(答) 市営住宅の長寿命化計画に基づき、団地ごとに用途廃止、建替え、維持管理の方針を決定し、整備を行う。

高齢者の福祉関連の施設入居について

(問) 特養老人ホームや老健施設は利用料が割安安価であるが、なかなか入所できない。住宅型有料老人ホームは利用料が10万円を超え、支払いに苦慮している。施設によってどう違うのか。

(答) 住宅型有料老人ホームは県への届け出で設置できるが公的補助はない。

(問) 特別養護老人ホームの入所待機者も多いが、安心して入所できる施設増設の考えはないか。

(答) 特養施設の申込者は501人である。施設の新設の計画はないが、第6期介護保険事業計画で検討したい。

不妊治療について

(問) 本市も補助制度を作って欲しい。

(答) 現在、検討を進めている。



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員

厚生委員会

行政視察報告

■静岡県袋井市

・健康マイレージ制度について

袋井市では、毎日の健康づくりの実施記録をポイント化し、公共施設利用券や民間の登録サービス券と交換、あるいは幼稚園や学校等へポイントの寄付をすることができ健康づくり事業について研修を受けました。



袋井市での研修のようす

■静岡県島田市

・こども発達支援センター「ふわり」、特定不妊治療費助成交付金事業について

島田市では、こども発達支援センター「ふわり」を視察しました。

この施設は廊下つながりで行き来できる民間保育園が隣接され、発達滞りの気になる子ども達と保育園の子ども達の日常的な交流が図られるよう

になっています。また、特定不妊治療助成事業の状況等についても研修を受けました。



現地視察

(こども発達支援センター「ふわり」)

■千葉県山武市

・認定こども園について

山武市では、認定こども園開設に向けての取り組みや利用状況、また、耐震性能が高く、津波を極力受け流し、過大な波圧を受けない架構計画の『しらはたこども園』の現地視察を含めて研修を受けました。



現地視察(しらはたこども園)

産業経済委員会

行政視察報告

■沖縄県沖縄市

・広島東洋カープキャンプ受入施設の状況について

沖縄市では、広島東洋カープがキャンプで利用する野球場の全面改築に取り組んでおり、改築状況と今後の計画について説明を受けました。

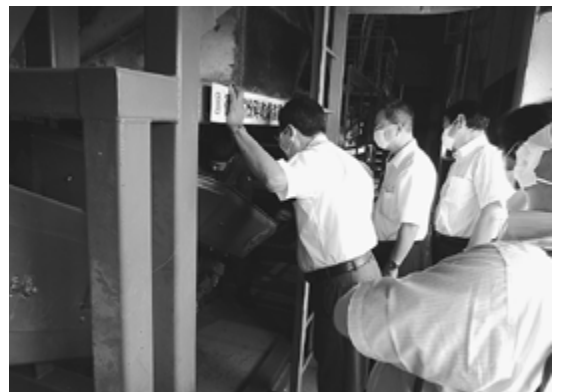


現地視察(全面改築中の市営球場)

■沖縄県うるま市

・バイオマスタウン構想策定後の取り組みと今後について

うるま市では、平成18年度にバイオマスタウン構想を策定し、バイオマス資源の活用に取り組んでいます。その中で、(株)バイオマス再資源化センターでは、廃材を自社開発の機器行程において、木質燃料ペレットの製造に取り組まれている状況について研修を受けました。



現地視察

(株)バイオマス再資源化センター)

■沖縄県那覇市

・那覇市における観光振興について

那覇市では、観光都市として年間を通じた観光振興への取り組み、観光資源を活かした観光づくり等とあわせて、観光協会の運営状況や連携について研修を受けました。



那覇市での研修風景

建設水道委員会

行政視察報告

■青森県十和田市
・市町村設置型浄化槽整備事業の取り組みについて

十和田市では、公設合併浄化槽におけるPFI事業による当該事業の取り組みについて研修を受けました。また、高度浄水設備についても現地視察を含めて研修を受けましたが、病原性の微生物や細かい汚れの除去を目的とした高度な設備となっているものの、この設備については、多額の設備投資と維持管理費が懸念されるため、十分な検討が必要であると感じました。



現地視察(高度浄水設備)



大崎市での研修風景

■宮城県大崎市
・震災後のライフライン復旧計画について

大崎市では、東日本大震災において、特に水道関連施設においては、多数の漏水箇所が発生し、修繕に1ヶ月程度、また、水源の濁り解消に3ヶ月を要したとのことで、ライフライン復旧計画並びに復旧後における課題について研修を受けました。

本市においても、南海トラフ発生の危機を自覚し、災害に強い上水道の整備が求められており、今後は、配水管等の耐震化推進、一自治体での対応には限界があることは明らかのため、自治体間での連携強化を図るといった緊急時のバックアップ体制の構築、応急給水対応の拠点施設の整備、資器材備蓄等を図る必要性を感じました。

総務文教委員会

行政視察報告

■栃木県大田原市
・中心市街地活性化事業について

大田原市では、平成20年に認定を受けた中心市街地活性化基本計画について視察をしました。



大田原市での研修のようす

事業導入の経緯や進捗状況等について説明を受けたあと、事業の中心である複合施設『トコトコ大田原』の現地視察を行いました。



現地視察
(複合施設『トコトコ大田原』)

議会をもっと身近に

議会の本会議は、簡単な手続きで傍聴できます。
ぜひ、傍聴にお越しください。



インターネットで議会の一般質問などのようすを見ることができます。

日南市議会

検索



議会日誌

(10月から12月・抜粋)

【10月】

- 2日 第6回定例会 閉会
議会だより編集委員会
- 8日 厚生委員会行政視察
(袋井市、島田市、山武市 10日まで)
建設水道委員会行政視察
(十和田市、大崎市 10日まで)
- 9日 岩手県宮古市議会が行政視察のため来訪
- 11日 議会だより編集委員会
- 12日 那覇大綱挽まつり(14日まで)
- 16日 総務文教委員会行政視察
(大田原市 18日まで)
産業経済委員会行政視察
(沖縄市、うるま市、那覇市 18日まで)
- 21日 改政クラブ会派視察
(焼津市、飯能市 23日まで)
- 23日 日南ルネサンス会派視察
(日田市、白杵市 25日まで)
- 28日 決算審査特別委員会(30日まで)
福岡県那珂川町議会が行政視察のため来訪
- 31日 岩手県遠野市議会が行政視察のため来訪

【11月】

- 5日 新生日南会会派視察
(対馬市、北九州市、下関市 7日まで)
- 6日 全国市議会議長会評議員会(7日まで)
県道河川整備促進期成同盟会要望活動
公明党日南市議団会派視察
(滝川市、美咲市、岩見沢市 8日まで)
- 13日 日南市政総合推進対策特別委員会要望活動(15日まで)
- 15日 熊本県合志市議会が行政視察のため来訪
宮城県塩竈市議会が行政視察のため来訪
- 18日 議会運営委員会
- 19日 議会改革特別委員会行政視察
(小城市、諫早市 20日まで)
- 25日 第7回定例会 開会
議会運営委員会
議会だより編集委員会
本会議(質疑)

【12月】

- 5日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 6日 本会議(一般質問)
総務文教委員会
- 9日 本会議(一般質問)
日南市政総合推進対策特別委員会
- 10日 本会議(一般質問)
議会改革特別委員会
- 11日 委員会審査(11日～12日まで)
建設水道委員会所管事務調査
- 17日 第7回定例会 閉会
議会だより編集委員会
- 25日 議会だより編集委員会

トピックス

南郷地区地域連携組織「なんごう 活気粋(いきいき)協議会」が設立!!

平成25年12月12日に『南郷地区地域連携組織設立総会』が開催され、市内で8番目の組織として「なんごう活気粋(いきいき)協議会」が誕生しました。今後は、地域課題の整理や解決を行うために、地域力を結集して取り組みを展開していかれます。



『南郷地区地域連携組織 設立総会』のようす

■平成26年第1回(3月)定例会の予定■

- 2月24日 開会、本会議(現年度分提案)
委員会審査(現年度分)
- 25日 委員会審査(現年度分)
- 26日 本会議(現年度分採決、新年度分提案)
- 27日 本会議(質疑)
- 3月7日・10日～12日 本会議(一般質問)
- 13日～14日・17日 委員会審査(新年度分)
- 19日 閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。

編集後記

平成26年が始動して、早くも1ヶ月が過ぎました。国の情勢も、めまぐるしく変化をしていく中、日南市議会もその流れに乗り遅れることなく、変化しなければならぬと思っています。

さて、一昔前までは、事業を行うときには、人・物・カネがあれば良いと言われていました。しかし、今はそれに『情報』がないと事業は継続できない時代となりました。プロ野球の球団をみてもよくわかります。昔は、スーパードライや食品会社等のチームが多い時代がありました。しかし今は情報産業のチームが目立つようになりました。いかに情報が大事であるかです。日南市の議会だよりも議会の情報を発信する大事な広報誌です。

いよいよ、今年から議会報告会が始まります。議会だより編集委員会も市民の皆さまが必要とする情報、議会として知って頂きたい情報を今まで以上に発信しなければならぬと思っています。

記 山田 一

【議会だより編集委員会】

委員長 深川 保典
副委員長 林 一彦
委員 和足 恭輔
委員 山田 慎一

谷口 慎二
倉岡 郁夫
黒部 俊泰